

TRX305CP
TRX-305A 用操作パネル
製作メモ

2015年1月6日

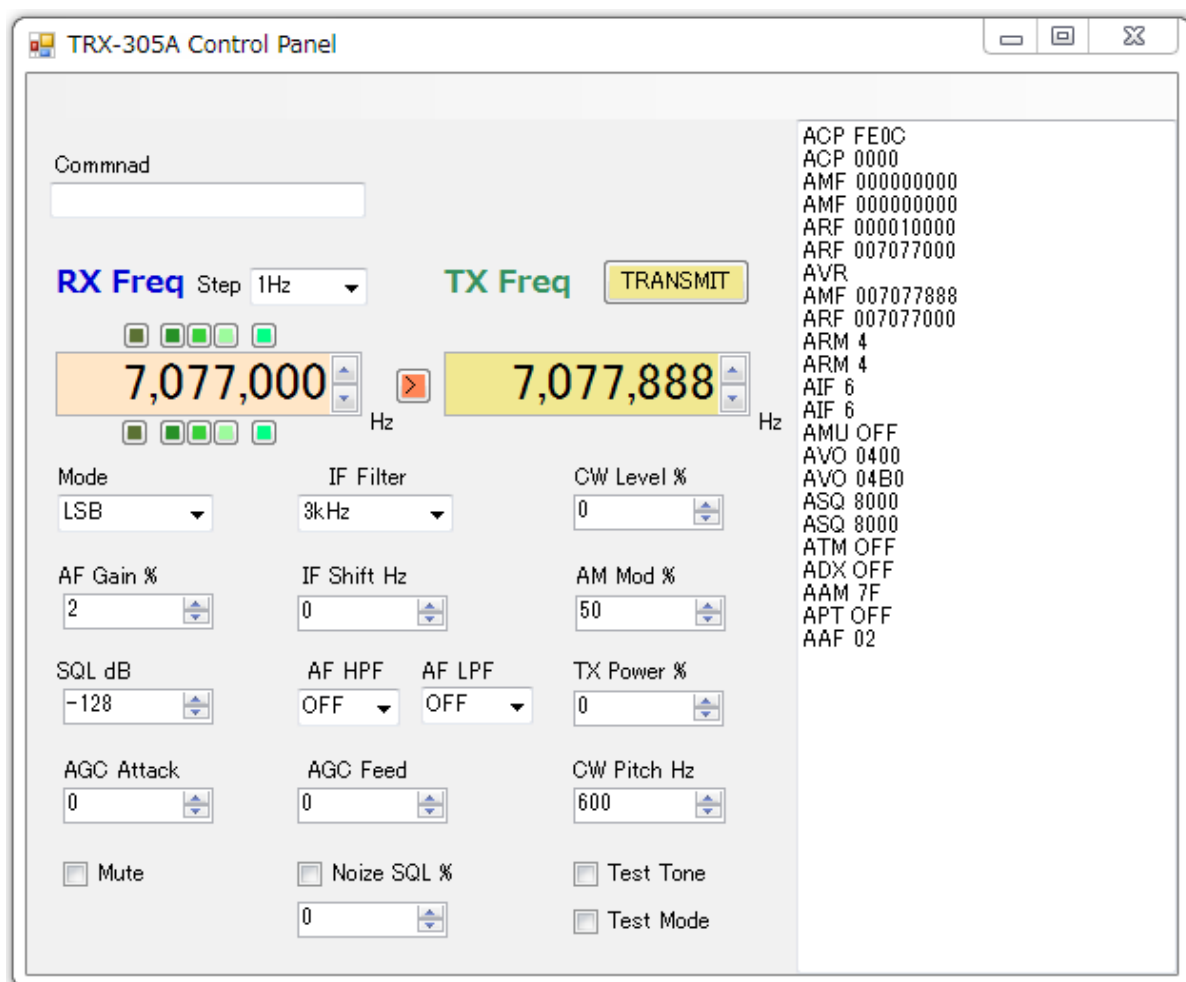
JH4ADK
難波 秀文

1. はじめに

TRX305CP は、CQ 出版社がフルデジタル無線機のキットとして販売している TRX-305A で各種実験をするためのコントロールパネル（操作パネル）です。

キットに付属している説明書（チュートリアル）では、TeraTerm などのターミナルソフトで操作する方法が説明されていますが、ハムバンドなどを受信するにはまどろっこしい感じなので、TRX-305A を楽しく評価するために製作しました。

本アプリは Visual Basic 2010 Express を使用して Windows7 Professional (64 ビット版) で開発しました。ソースコードを公開しますので、興味のある方はご自分で Zip ファイルを展開してビルドしてください。



2 使用方法

シリアルポート名 (COM2)は、ソースコードの中で COMport のプロパティとして記述しているので、exe ファイルを直接実行することはお勧めできません。使用されるパソコンの環境に合わせてコンパイルしてください。

操作パネルの使用方法は、見た感じのままです。TRX-305A に与えたコマンドを右端のテキストボックスに表示しています。例えば、RX Freq のテキストボックスにマウスカーソルを合わせて、スクロールホイールを回すと ARM コマンドが TRX-305A に与えられている状況を確認することができます。

ターミナルソフトのようにコマンドラインからコマンドを与えることもできます。

受信の実験のみならず、各種の変調方式の送信してみるなど各種実験に使用できます。